

## 活動報告

(2002年1月-3月)

### 順不同、一部敬称略

<前ページからの続き>

表)関西労働研究会合宿、1月  
「ドイツのIT技術者確保政策」(討論者)関西労働研究会合宿、1月  
労働経済講座「国際化と日本の雇用」(講演)大阪労働協会、1月  
「マクロ経済と現在の不況 - なぜ政策が効かないか - 」(講演)関西電力、3月  
山内直人教授「NPOと雇用、教育、人材育成」(パネリスト)日本NPO学会第4回年次大会、明治大学、3月  
「最新推計からみたNPOの規模と構造」(パネリスト)日本NPO学会第4回年次大会、明治大学、3月  
「What Determines the Size of Nonprofits: Cross-Country Analysis from the Comparative Non-profit Sector Project」(報告者、松永佳甫と共同)日本NPO学会第4回年次大会、明治大学、3月  
木戸衛一助教授「ドイツの過去・現在から見えてくるもの」(講演)旭川藤女子高等学校、3月  
今川拓郎助教授「IT時代におけるデジタル放送」シンポジウム(パネリスト)「地上デジタル放送フォーラム」3月  
「資産の拘束と長期停滞」(発表)財務省財務総合政策研究所ランチセミナー、3月  
星野俊也助教授「NGO ミッション・アフガン緊急帰国報告 - アフガニスタン緊急支援の最前線にて」(講演: 関薫子・GEN職員)第1回OSIPP・NGOフォーラム(司会)1月  
「Long-term Peace-building」(報告) JICA-UK Office and SOAS, Lond University, Japan-UK Seminar on East Timor: A New Nation is Born, London, UK, Feb.  
「国際安全保障と危機管理 - 国際公共政策の視点から」(報告)京都大学防災研究所、3月  
「人道危機と国際介入」(報告)広島平和研究所「新介入主義の正統性と合理性」研究会、3月  
「サイバー空間における脅威と危機管理のあり方」(報告)日本国際問題研究所「IT革命と安全保障」研究会(平成13年度外務省委託研究)3月  
「9・11事件後の欧州」(講演・シュヴィマー欧州評議会事務総長) (司会)第9回OSIPP政策フォーラム、3月

「欧州連合(EU)の共通外交・安全保障政策(CFSP)の展開」(講演・アイヒンガー欧州連合(EU)理事会アジア等担当局長) (司会)第10回OSIPP政策フォーラム、3月  
「カウンターテロリズム」(討論)北陸大学・名古屋アメリカンセンター主催セミナー、金沢、3月  
Robert Eldridge助教授「New Frontiers for U.S.-Japan Security Relations」(報告) Research Institute for Peace and Security/Atlantic Council of the United States Joint Conference, Tokyo, Feb.  
「Okinawa and U.S. Japan Relations in the 21st Century: Bilateral and Trilateral Approaches to a Sounder Okinawa Policy」(報告)RIPS Conference, Mar.  
「Managing the Indispensable Alliance」(司会)第8回OSIPP政策フォーラム、3月  
「Dissolving Boundaries ISA Convention」(司会) New Orleans, USA, Mar.  
清未愛砂(D3)「When migration, which can be one of the ways to improve workers' lives, becomes a target of traffickers...: case studies from Thailand and Japan」(セミナー講師) Seminar in the Faculty of Behavioural and Social Sciences, the University of Groningen, Holland, Mar.  
胡鳴(M1)「中国の教育現状」(報告)『教育における学校の役割・家庭の役割』フォーラム、豊中ロータリークラブ、2月

### フィールドワーク、調査など

辻正次教授奈良県野迫川町の地域情報化施策の実地調査、3月  
高阪章教授「西太平洋地域の産業再編成」に関する調査研究 メルボルン・シドニー(オーストラリア) 2月  
「EU周辺国における通貨同盟の影響」に関する調査研究、プラハ(チェコ) ウィーン(オーストリア) 3月  
床谷文雄教授太平洋西淵地域の国家間連携に関する調査、オーストラリア、3月  
松繁寿和助教授奄美大島の観光産業に関するCBA調査、3月  
藤井樹也助教授カリフォルニア州人権保護法に関する資料・情報収集、カリフォルニア大学バークレイ校、2月(平成13年度科学研究費奨励研究(A)「人権救済法の立法的課題」)

アメリカ憲法に関する資料収集およびロー・スクールの教育施設・教育状況の現地調査、イエール大学・ヴァージニア大学、3月  
星野俊也助教授「人間の安全保障」に関する調査・研究 欧州(ウィーン、ジュネーブ、タンペレ、ロンドン) 2月  
Robert Eldridge助教授マッカーサー二世大使の研究調査 ベルギー、オランダ、1月  
日米と沖縄関係の研究調査 ハワイ・ワシントンDC(アメリカ) 3月  
佐渡紀子助手軍備管理に関する調査および専門家との意見交換、ストックホルム平和研究所・OSCE事務局および加盟国代表部、2-3月  
清未愛砂(D3)パレスチナにおけるイスラエル国防軍による人権侵害モニターおよび被害状況の調査およびthe International Solidarity Movementへの参加 Palestine, Mar.

### 学外の公的活動など

辻正次教授社会資本研究会、座長、2月  
野村美明教授科研「太平洋西淵地域における制度改革と国家間連携の将来」オーストラリア、2-3月  
高阪章教授太平洋経済協力会議PECC日本委員会(総会報告) 2月  
松繁寿和助教授労働政策委員会委員(関西生産性本部) 2月  
山内直人教授日本NPO学会第4回大会運営委員 障害者雇用貢献企業への顕彰のあり方検討会委員(大阪府) 2月

『国際公共政策研究』所収の論文については4ページに掲載

お詫び 前号で辻正次教授の分が一部脱落していました。お詫びして追記いたします。

### 学外の公的活動など

Editor-in-Chief, special issue on Mobile Communications in Asia-Pacific Wireless Communications and Mobile Computing, Oct.(2001)

## 研究プロローグ

### 藤井樹也 助教授(憲法・英米法・公共政策)

「仙人になりたい」。それが法学の道を選ぶ理由だったと言う。灘高校時代、歴史上の人物の中では諸葛孔明や竹中半兵衛ら、剛勇よりも策謀に長けた軍師への憧れがあった。こうした「どことなく浮世離れた人物像」に対する憧れは、次第に「飄々としていながら異常な才能を發揮する仙人」への志向へとつながった。

またその頃、数学の専門雑誌の中に見つけた「エレガントな解答を」という表現に強く魅かれた。1984年東京大学法学部入学。この時から、法解釈のパズル的な部分にとりわけつよい魅力を感じ、エレガントな解釈を追求する「法の仙人」としての歩みがはじまった。

88年京都大学法学研究科に進学。当時の京大大学院には依然、学生運動のなごりで「院生は反戦運動に参加しなくてはならない」という雰囲気漂っていた。このため、目を学外に転じ、「アカデミックな法学研究にじっくりと取り組みそうな」阪大法学研究科の松井茂記教授ゼミに参加した。ここ

で阪大の院生と交流を深め、冬のスキー旅行にも同行した。93年京都大学大学院法学研究科助手、95年三重大学人文学部講師に就任。同助教授を経て、01年から現職。「OSIPPへ初めて来たときは、母校へ帰ってきたような懐かしさ、親しみを覚えた」そうだ。

OSIPP内では、「犬と紅茶の愛好家」として知られる。犬好きの歴史は長く、少年時代はキジを追う猟犬など常に複数の犬に囲まれて育った。自らのホームページに「探犬家。犬識に富む」という自己紹介を載せているほどだ。一方、紅茶との関わりは比較的新しく、大学院進学以降ということだが、今では研究室の本棚の一段は、「紅茶コレクション」が整然と並ぶ紅茶棚と化している。「訪ねてくれるOSIPPの皆さんと一緒に紅茶を味わう時間が一番楽しい」と言う。

編集・発行 「OSIPP 広報委員会・ニューズレター編集部」(〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-31、大阪大学大学院 国際公共政策研究科内、TEL 06-6850-5202、OSIPP事務局) <http://www.osipp.osaka-u.ac.jp>